

地域の医療機関と連携した高度な外科手術・術後フォローアップ体制について

さいたま赤十字病院では、高度な外科手術や専門的な治療を要する患者様に、安心で途切れない医療を提供するため、地域の医療機関（かかりつけ医等）と緊密に連携し、安全な医療を提供する体制を整えております。

当院は、令和8年度診療報酬改定にて新設された「外科医療確保特別加算」の施設基準を満たしており、地域の医療機関と事前に協議を行い、万全の手術実施体制と退院後のフォローアップ体制を構築しています。

また、当院は、外科医療確保特別加算の施設基準に基づき、地元医師会と連携医療機関を通じて、地域の医療機関と対象手術の実施体制および術後フォローアップ体制について情報共有・協議を行っています。令和8年6月現在、阪医院（阪眞院長、さいたま市与野医師会会長）および、しおや消化器内科クリニック（塩屋雄史院長）をはじめとする地域医療機関と、当院消化器外科における高度な手術の実施体制および術後フォローアップ体制について確認を行っています。

1. さいたま赤十字病院の高度な手術体制について

当院では、胃がん、大腸がん（結腸がん・直腸がん）、食道がん、肝臓がん、膵臓がん、胆道がん（胆のうがん等）などの悪性腫瘍に対する切除手術や、身体への負担が少ないロボット支援下手術など、高度な技術と万全の管理を要する手術を年間370件以上（令和7年度実績379件、うちロボット支援下手術262件）行っています。

● 専門医等によるチーム医療

経験豊富な外科領域専門医や専攻医が複数名在籍し、チーム体制（交代勤務制やオンコール体制）で安全に治療にあたります。

● 充実したサポート体制

麻酔科や集中治療室（ICU/HCU）と連携し、また看護師等の多職種と連携し、術前から術後まで万全のバックアップ体制で手術を行います。

● 緊急時の対応

夜間・休日の救急搬送や緊急手術にも迅速に対応できる体制を確保しています。

2. 地域の医療機関との「術後フォローアップ」連携体制

患者様が退院された後も安心して療養できるよう、地域の連携医療機関（かかりつけ医の先生等）と以下のような役割分担を行い、途切れることのないサポート体制を整えています。

● 手術～入院中の急性期管理

当院において、高度な手術と術後の集中的な治療・管理を行います。

● 退院後のフォローアップ（かかりつけ医等との連携）

当院での治療を経て状態が安定した後の日常的な診察、お薬の処方、健康管理などは、地域の連携する医療機関（かかりつけ医の先生等）にご紹介し、担当していただきます。

● 万が一の際の迅速な対応

退院後、術後に合併症が疑われる場合や状態に変化があった際には、当院が窓口となり、連携する医療機関から速やかに情報共有を受け、優先的・迅速に当院へ受け入れて治療を行う体制が確保されています。

患者様へ

当院は、日頃から地域の医療機関と情報を共有し、連携協議を行っております。手術が必要な状態になっても、地域の医療機関と当院が連携して途切れることなくサポートいたしますので、安心してご相談ください。詳しい治療内容や連携についてご不明な点がございましたら、当院の医師またはスタッフまでお気軽にお尋ねください。

安心を支える、高度な外科手術と地域連携：さいたま赤十字病院の「外科医療確保特別加算」への取り組み

さいたま赤十字病院の高度な手術体制



年間379件の対象手術実績
(令和7年度)
(うちロボット支援262件)



専門医等によるチーム医療
外科領域専門医11名、専攻医3名の体制で、チーム制およびオンコール体制を導入し、質の高い外科医療を24時間提供しています。



麻酔科医
麻酔科医が安全な全身管理を実施



ICU/HCU・臨床工学技士
集中治療室での管理と臨床工学技士が連携



輸血・検査など多職種連携
輸血部門や検査部門など多職種が連携をサポート

術前から術後まで安全な周術期管理をサポートします。

外科医療確保特別加算とは



外科医の環境改善と高度医療の維持
外科医の勤務環境を整え、高度な外科手術を地域で継続して提供するための仕組みです。



地域医療機関との事前協議
本加算の算定にあたっては、地域の医師会や医療機関と、対象手術の実施体制および術後フォローアップ体制について事前に協議し、合意を得ています。



消化器外科における手術実績 (令和7年度)

区分	対象手術例	年間件数	(うちロボット)
上部消化管	胃切除、食道切除	58件	54件
下部消化管	結腸切除、直腸切除	207件	169件
肝胆膵領域	肝切除、膵頭十二指腸切除等	114件	39件
合計		379件	262件

患者を支える「地域連携フォローアップ」の3ステップ

STEP 1 高度な手術・急性期管理 (当院)



さいたま赤十字病院にて、高度な技術を要する手術を実施し、術後の不安定な急性期を専門病棟で集中的に管理します。

STEP 2 地域での継続診療 (かかりつけ医)



状態が安定した後は、地域の「かかりつけ医」へ逆紹介。日常的な診療やお薬の処方、通いやすい地元のクリニックが担当します。

STEP 3 万が一の際の迅速な対応



合併症の疑いや状態変化があった際は、かかりつけ医と当院が密に連絡。当院が窓口となり、優先的に受け入れる体制が整っています。



病院 ・ 救急車 ・ クリニック

外科医療確保特別加算対象手術件数
※令和7年4月～令和8年3月

Kコード	術式	件数
K529-21	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(頭部、胸部、腹部の操作)	4
K6402	腸間膜損傷手術(腸管切除を伴う)	0
K643	後腹膜悪性腫瘍手術	1
K655-21	腹腔鏡下胃切除術(単純切除術)(内視鏡手術用支援機器使用)	1
K655-23	腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術)(内視鏡手術用支援機器使用)	41
K655-53	腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術)(手術用支援機器)	5
K657-24	腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術)(内視鏡手術用支援機器使用)	7
K6752	胆嚢悪性腫瘍手術(肝切除(亜区域切除以上))	3
K6753	胆嚢悪性腫瘍手術(肝切除(葉以上)を伴う)	1
K6951イ	肝切除術(部分切除)(単回切除)	4
K6952	肝切除術(亜区域切除)	2
K6953	肝切除術(外側区域切除)	1
K6954	肝切除術(1区域切除(外側区域切除を除く))	6
K6955	肝切除術(2区域切除)	4
K695-21イ	腹腔鏡下肝切除術(部分切除)(単回切除)	22
K695-21ロ	腹腔鏡下肝切除術(部分切除)(複数回切除)	1
K695-23	腹腔鏡下肝切除術(亜区域切除)	10
K695-24	腹腔鏡下肝切除術(1区域切除(外側区域切除を除く))	3
K695-25	腹腔鏡下肝切除術(2区域切除)	5
K702-21	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(脾同時切除)(通則18)	20
K702-22	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(脾温存)(内視鏡手術用支援機器使用)	3
K7032	膵頭部腫瘍切除術(リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術)	5
K7033	膵頭部腫瘍切除術(周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術)	1
K7034	膵頭部腫瘍切除術(血行再建を伴う腫瘍切除術)	2
K703-21	腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(膵頭十二指腸切除術)(通則18)	1
K703-22	腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(リンパ節等伴う腫瘍切除術)(通則18)	15
K704	膵全摘術	1
K711-2	腹腔鏡下脾摘出術	3
K7192	結腸切除術(結腸半側切除)	4
K7192	腸閉塞症手術(結腸切除術)(結腸半側切除)	1
K719-21	腹腔鏡下結腸切除術(小範囲切除、結腸半側切除)	28
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	4
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器)	96
K7405	直腸切除・切断術(切断術)	0
K740-21	腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術)	1
K740-21	腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術)(内視鏡手術用支援機器使用)	19
K740-22	腹腔鏡下直腸切除・切断術(低位前方切除術・手術用支援機器使用)	35
K740-23	腹腔鏡下直腸切除・切断術(超低位前方切除・内視鏡手術用支援機器)	8
K740-24	腹腔鏡下直腸切除・切断術(経肛門吻合伴う・内視鏡手術用支援機器)	1
K740-25	腹腔鏡下直腸切除・切断術(切断術)(内視鏡手術用支援機器使用)	10
総計	—	379